

㊦ クリーニングシステム

<p>刷毛でぬるだけで 環境にやさしい</p> <p>あく・かび・汚れ をとす</p> <p>アクトリン</p> <p>木部修復剤 アルカリ性</p>	<p>環境に やさしい</p> <p>浴室 内外壁</p> <p>トレールンA</p> <p>アルカリ性 殺菌・除カビ洗淨剤</p>
<p>換気扇 空調 床 外壁 アルミサッシ</p> <p>環境に やさしい</p> <p>トレールンO</p> <p>アルカリ性 油汚れ落とし洗淨剤</p>	<p>噴霧 厳禁</p> <p>トレールンF</p> <p>酸性 エフロ・サビ染み除去剤</p>

販売元 ㊦ 大塚刷毛製造株式会社

Internet Paint Shoppe 塗料専門通販センター
 plw べいんとわーくす 建物館
<http://www.paint-works.net/tatemono/>

アクトリン

(木部修復剤)

木部修復基本工程

アクトリン

トレールンA

トレールンO

トレールンF

●用意する道具（作業1人分）

- ・アクトリン ……………1本
- ・ポリ容器（1～3リットル）……………1個
- ・化学繊維100%の刷毛 ……………1本
 - ※ナイロンやポリエステル等、化学繊維100%の刷毛を使用して下さい。
 - ※獣毛が混じっている刷毛の使用は避けてください。（液成分と反応し泡状になり効果をおとします。）
- ・ゴム手袋又は、ビニール手袋 ……1双
- ・ウエス ……………相当数
- ・マスキングテープ ……………相当数
 - ※室内での作業の時、畳等必要に応じて養生して下さい。
- ・防毒マスク……………1個
 - ※作業中多少臭いがしますので、臭いの気になる方はマスクの着用をお勧めします。
 - 尚、作業が終了し乾燥すると臭いは消えます。
- ・保護メガネ……………1個

●作業前の準備

- ゴム手袋、保護メガネ、必要に応じて防毒マスクを着用し作業に掛かって下さい。
- 木部の上にクリアー仕上げされているもの（防腐剤、ニス、ワックス等）は剥離剤等ですべて落としておいて下さい。
- 室内での作業については換気をよくし、マスキングテープにて養生をして下さい。
- アクトリンを汚れに応じて原液もしくは2倍～3倍に希釈して使用して下さい。
- 目立たない部分に、アクトリンを刷毛で少量塗布し、効果の確認をした上で施行して下さい。

●作業手順

- ①ゴム手袋を着用し作業に掛かって下さい。
- ②アクトリンを乾燥した木部に均一に刷毛で撫でる様に塗布して下さい。
- ③5～10分後カビが消えたら、浮き上がった汚れやあくを濡れた布ウエスで拭き取って下さい。
- ④古い木もしくは汚れのひどい木で1回で汚れが落ちない場合は、繰り返しこの作業を行って下さい。
その場合木の乾燥を待たずに作業できますが、乾燥後の仕上がりは作業終了時点より30%程度白さが増す事があるので塗り過ぎには注意して下さい。但し、室内の木で築年数経過した木は、手垢やタバコのヤニ、油等が回りを覆っている事が多いので、アクトリンを塗布した後、スコッチ等で木目に沿ってブラッシングをした上で、更にもう1度アクトリンを塗布して下さい。
- ⑤アクトリンで落とすきれないシミや効果に満足いかない場合は、アクトリンが充分乾いたところで、2～3倍で希釈したトレールンFを刷毛で塗布して下さい。（アクトリンが乾かない前のトレールンFの塗り重ね、アクトリンに使用した刷毛でのトレールンFの使用は絶対にしないで下さい）
※塗装する場合は、洗浄・乾燥後そのまま行う事が出来ます。

アクトリン

施工方法

●木部扉洗浄……使用液剤：アクトリン **トレールンF**

①木部全体を、濡れたウエスで汚れを充分拭き取る。



②扉手すり、小窓ガラスをマスキング等で養生する。
アクトリンを化学繊維100%の刷毛で木目にそって塗布する。



③木部全体を、汚れによって1～3回塗布する、塗布後ウエスでアクを拭き取る。



◎雨染み等がある場合

④乾燥後 **トレールンF** を2～3倍に希釈し化学繊維100%の刷毛で塗布する。

⑤まんべんなく塗布後、乾燥させる。



アクトリン

トレールンA

トレールンO

トレールンF

アクトリン

使用例

●あく洗い比較

他社あく洗い後



当社施工後



アクトリン

トレールンA

トレールンO

トレールンF

アクトリン

使用例

●木部



アクトリン
トレールンA
トレールンO
トレールンE

アクトリン

使用例

●木部



アクトリン

トレールンA

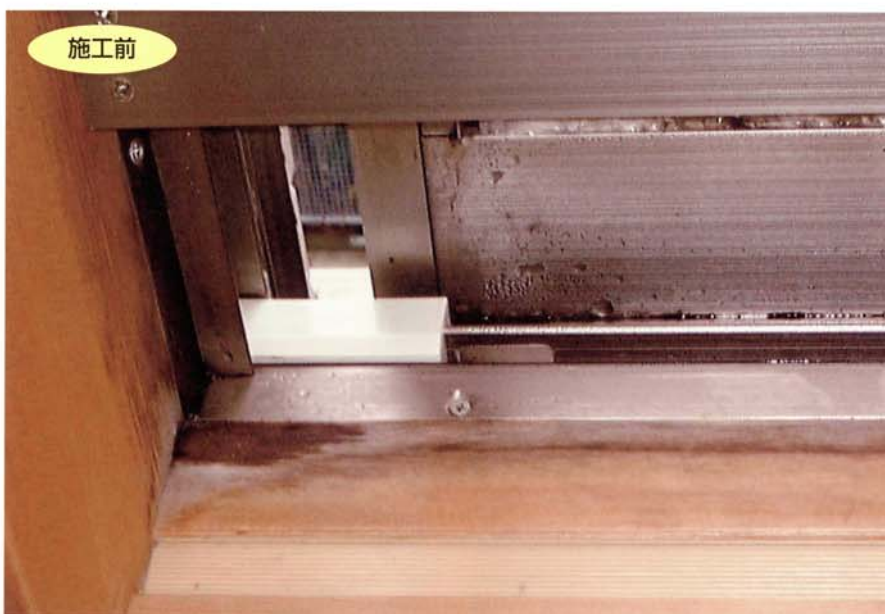
トレールンO

トレールンF

アウトリン

使用例

●木部



アウトリン

トレールンA

トレールンO

トレールンF

トレ〜ルンA

(殺菌・除カビ洗浄剤)

殺菌・除カビ洗浄基本工程

●用意する道具（作業1人分）

- ・トレ〜ルンA……………1本
- ・ポリ容器（1〜3リットル）……………1個
- ・噴霧器……………1個
- ・化学繊維100%の刷毛……………1本
 - ※ナイロンやポリエステル等、化学繊維100%の刷毛を使用して下さい。
 - ※獣毛が混じっている刷毛の使用は避けてください。（液成分と反応し泡状になり効果をおとします。）
- ・ローラー……………相当数
- ・ゴム手袋……………1双
- ・防毒マスク……………1個
 - ※作業中多少臭いがしますので、臭いの気になる方はマスクの着用をお勧めします。
- ・保護メガネ……………1個
- ・布ウエス……………相当数
- ・マスキング……………相当数
- ・洗浄機（水圧25キロ以上）……………1台
- ・脚立……………1台
 - ※洗浄機、脚立は作業場所によって必要な場合もあります。

●作業前の準備

- ゴム手袋、保護メガネ、必要に応じて防毒マスクを着用し作業に掛かって下さい。
- カビと汚れの区別をする場合は、目立たない部分にトレ〜ルンAを刷毛で少量塗布し、数分後に反応を確認して下さい。→布ウエスでふき取るとカビの場合消えます。

●作業手順

～浴室～

- ①浴室全体に十分にシャワー等で水をかけて下さい。
- ②浴槽は水を溜める、もしくはふたをして作業に掛かって下さい。
- ③トレ〜ルンAを噴霧器で浴室全体にまんべんなく塗布して下さい。
- ④30分後、シャワー等でよく洗い流して下さい。
 - ※1回で落ちきらない場合は、カビの落ちていない部分に繰り返しこの作業を行って下さい。

～外壁&コンクリート～

- ①壁面全体に充分水をかけて下さい。
- ②①の作業の後すぐにトレ〜ルンAを噴霧器や刷毛、ローラー等で壁面全体にまんべんなく塗布して下さい。
- ③30分後、壁面を洗浄機でよく洗い流して下さい。
 - ※1回で落ちきらない場合は、カビの落ちていない部分に繰り返しこの作業を行って下さい。

～ビニールクロス～

- ①床面をマスキング等で養生して下さい。
- ②トレ〜ルンAを噴霧器や刷毛、ローラー等でクロスの表面に塗布して下さい。
- ③30分後、カビが消えたら布ウエスで軽くふき取って下さい。
 - ※1回で落ちきらない場合は、カビの落ちていない部分に繰り返しこの作業を行って下さい。

☆施主等から中和を求められた場合、A用リンス剤を塗布し、3〜5分後に水で洗い流して下さい。

トレ〜ルンA

施工方法

●浴室……使用液剤：トレ〜ルンA

- ①浴室全体に水をかけ、浴槽には、水を溜めておく。
トレ〜ルンAを噴霧器で浴室全体に散布する。



- ②〜30分後、水でよく洗い流す。カビが残っている場合は、その部分にもう一度トレ〜ルンAを噴霧器で散布し、その後水洗いする。



トレ〜ルンA

施工方法

●ビニールクロス……使用液剤：トレ〜ルンA

- ①畳や床、柱等に養生をしておく。トレ〜ルンAを全体に散布する
この時噴霧器を霧状にし、平均的に散布する。



- ②〜30分後、ウェス等で良く水拭きする。この時汚れ等も同時に拭き取る。



●内壁・天井(タバコのヤニ)

- トレ〜ルンAを全体に刷毛・ローラーで塗布しウェス等で水拭きする。



トレ〜ルンA

施工方法

●外壁(壁塀)ブロック打放コンクリート…… 使用液剤：トレ〜ルンA

- ①壁面全体に水をかけ十分に濡らす。トレ〜ルンAを噴霧器でまんべんなく散布する。
カビのひどい箇所は多めに散布する。



- ②30分～1時間後洗浄器等で良く洗い流す。(水圧25～30kg)



トレ〜ルンA

使用例

●コンクリート



アクトリン

トレ〜ルンA

トレ〜ルンO

トレ〜ルンF

トレ〜ルンA

使用例

●ブロック



アクトリン
トレ〜ルンA
トレ〜ルンO
トレ〜ルンF

トレ〜ルンA

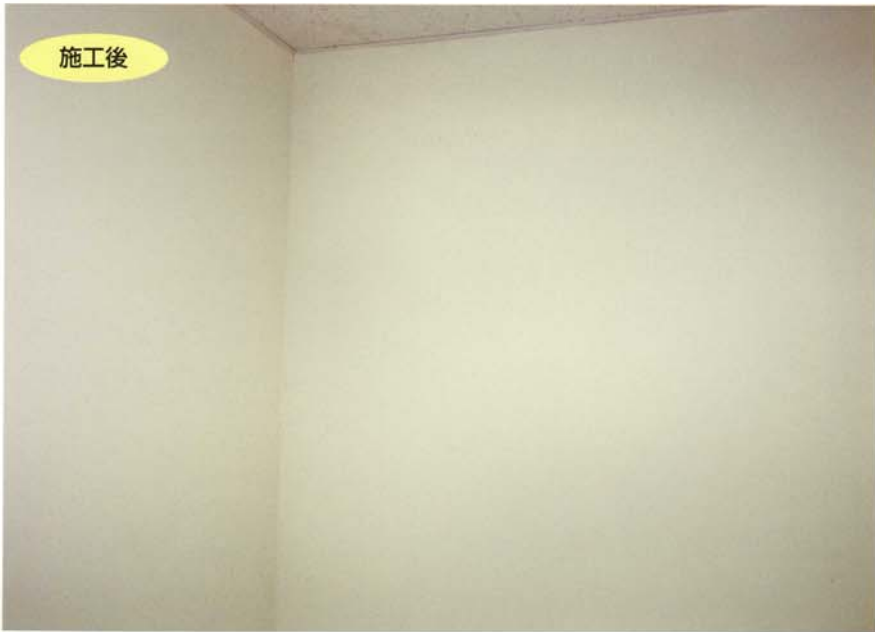
使用例

●ビニールクロス

施工前



施工後



アクトリン

トレ〜ルンA

トレ〜ルンO

トレ〜ルンF

トレ〜ルンA

使用例

●ビニールクロス

施工前



施工後



マウリン
トレ〜ルンA
トレ〜ルンO
トレ〜ルンF

トレ〜ルンO

(油落とし洗浄剤)

油落とし洗浄基本工程

●用意する道具（作業1人分）

- ・トレ〜ルンO ……………1本
- ・ポリ容器（1〜3リットル）……………1個
- ・噴霧器 ……………1個
- ・化学繊維100%の刷毛 ……………1本
 - ※ナイロンやポリエステル等、化学繊維100%の刷毛を使用して下さい。
 - ※獣毛が混じっている刷毛の使用は避けてください。（液成分と反応し泡状になり効果をおとします。）
- ・ナイロンブラシ ……………1個
- ・ゴム手袋 ……………1双
- ・防毒マスク ……………1個
 - ※作業中多少臭いがしますので、臭いの気になる方はマスクの着用をお勧めします。
- ・保護メガネ ……………1個
- ・布ウエス（雑巾等）……………相当数
- ・マスキングテープ ……………相当数
- ・洗浄機 ……………1台
 - ※作業場所によって必要な場合もあります。

●作業前の準備

- ゴム手袋、保護メガネ、必要に応じて防毒マスクを着用し作業に掛かって下さい。
- 目立たない部分に、トレ〜ルンOを少量塗布し、効果の確認をした上で施行して下さい。

●作業手順

～換気扇およびフード～

- ①フィルターやフィン等取り外せるものは外して下さい。
- ②モーターやスイッチ等の電気部分にはマスキングテープで養生をして下さい。
- ③トレ〜ルンOを噴霧器または刷毛で塗布して下さい。
- ④外した部品はトレ〜ルンOに漬けておいて下さい。
- ⑤約5分後、布ウエスや雑巾で拭き取って下さい。
 - ※頑固な汚れは軽くブラッシングして下さい。
- ⑥漬けておいた部品は水で洗い流して下さい。

トレ〜ルンO

(油落とし洗剤)

～ 空調(エアコン) ～

- ①電源を抜き、カバー・エアコンフィルター・ローターを取り外して下さい。
- ②空調機器やスイッチ、基盤等の電気部分をマスキング等で養生をして下さい。
- ③噴霧器にてトレ〜ルンOを熱交換器と裏側の送風口にまんべんなく塗布して下さい。
- ④5分程度放置した後、洗浄機で十分にすすぎ洗いして下さい。
- ⑤養生をはずし、本体及びカバー等に付いた水を乾いた布ウエスでふき取って下さい。
- ⑥はずしたカバーを取り付けて下さい。

～ 床の汚れ ～

- ①トレ〜ルンOを噴霧器またはモップで塗布して下さい。
 - ②5分程度放置後、ブラッシングをし、汚れが落ちたら拭き取るか集塵機で吸引して下さい。
- ※汚れがひどい時はポリッシャーを使うと効果的です。

～ ビニールクロス・柱・家具についた手垢 アルミサッシの洗浄 ～

- ①トレ〜ルンOを刷毛で手垢汚れの部分に塗布して下さい。
 - ②汚れが落ちたら布ウエス等で拭き取って下さい。
- ※アルミサッシの黄ばみ洗浄も①、②の工程で除去できますが、アルミサッシ鋳物及びブロンズのアルミはものにより白濁する事がありますので、テストをした上で施行して下さい。

～ 外壁に付いた油汚れ ～

- ①トレ〜ルンOを噴霧器または刷毛で塗布して下さい。
 - ②5分程度放置後、ブラッシングしながら水洗いをする。
- ※汚れのひどい場合は、洗浄機を使用すると効果的です。
- ③1回で汚れが落ちきらない場合は、繰り返しこの作業を行って下さい。

トレ〜ルンO

施工方法

●換気扇油汚れ …… 使用液剤：トレ〜ルンO

- ①フィルターやフィン等取り外せるものは外して下さい。
モーターやスイッチ等電気部分には養生して下さい。
- ②トレ〜ルンOを化学繊維100%の刷毛又は噴霧器で塗布して下さい。
- ③約5分後、布ウエスや雑巾で拭取ってください。



- ④頑固な汚れは軽くブラッシングするか、漬け置き後、水で洗い流して下さい。



●床の油汚れ …… 使用液剤：トレ〜ルンO

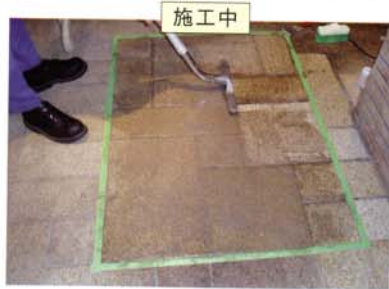
- ①トレ〜ルンOを化学繊維100%の刷毛又は噴霧器で塗布し、ナイロンブラシで軽くブラッシングする。



トレ〜ルンO

施工方法

②ブラッシング後、水で洗い流せない時は、集塵機で処理後、ウエスで拭取る。



※汚れが多い場合はサイド繰り返し作業を行う。

●アルミサッシ・テント他汚れ……使用液剤：トレ〜ルンO

①トレ〜ルンOを化学繊維100%の刷毛で塗布し、汚れが落ちたら布ウエス等でふき取って下さい。



アクトリン
トレ〜ルンA
トレ〜ルンO
トレ〜ルンF

トレ〜ルンO

使用例

●換気扇



アクトリン

トレ〜ルンA

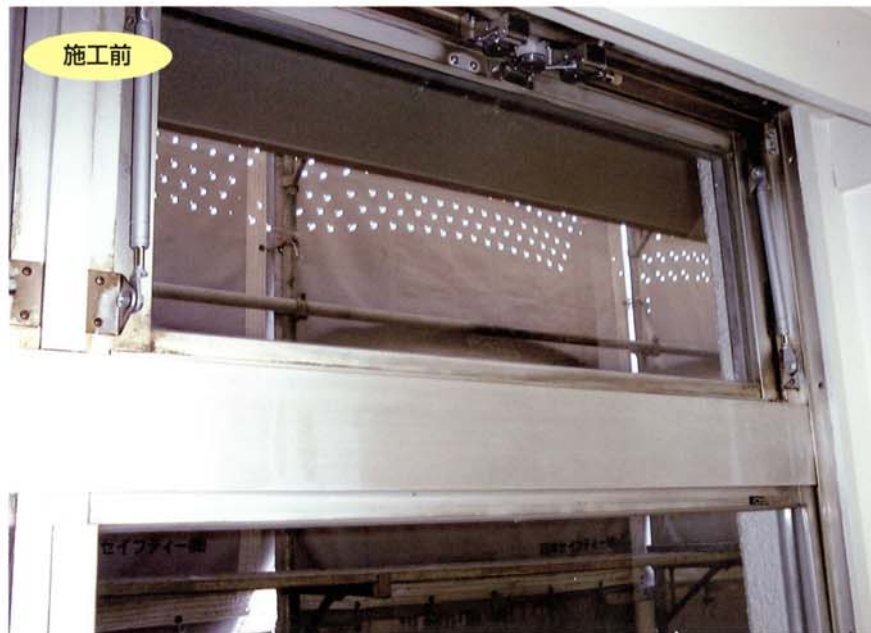
トレ〜ルンO

トレ〜ルンF

トレ〜ルン〇

使用例

●アルミサッシ



アクトリン
トレ〜ルンA
トレ〜ルン〇
トレ〜ルンF

トレ〜ルンO

使用例

●ステンレスフード

施工前



施工後



アクトリン

トレ〜ルンA

トレ〜ルンO

トレ〜ルンF

トレ〜ルンO

使用例

●グリスフィルター



アクトリン

トレ〜ルンA

トレ〜ルンO

トレ〜ルンF

トレ〜ルンF

(エフロ・サビ染み除去剤)

エフロ除去基本工程

●用意する道具（作業1人分）

- ・トレ〜ルンF ……………1本
- ・F用リンス剤……………1本
- ・ポリ容器（1〜3リットル）……………1個
- ・化学繊維100%の刷毛……………1本

※ナイロンやポリエステル等、化学繊維100%の刷毛を使用して下さい。

※獣毛が混じっている刷毛の使用は避けてください。（液成分と反応し泡状になり効果をおとします。）

- ・ナイロンブラシ……………1個
- ・ゴム手袋……………1双
- ・防毒マスク……………1個
- ※作業中多少臭いがしますので、臭いの気になる方はマスクの着用をお勧めします。
- ・保護メガネ……………1個
- ・布ウエス……………相当数
- ・ケレン道具（スコッチブライト、スクレーパー、ワイヤーブラシ）……………相当数
- ・マスキング……………相当数

●作業前の準備

- ゴム手袋、保護メガネ、必要に応じて防毒マスクを着用し作業に掛かって下さい。
- 植栽・車等飛散の恐れがある箇所には必ずマスキング等で養生して下さい。
- 目立たない部分に2〜3倍に希釈したトレ〜ルンFを少量塗布し、効果の確認をした上で施行して下さい。

●作業手順

- ①〈下地処理〉エフロが堆積している場合はケレン道具（スクレーパーやスコッチブライト、ワイヤーブラシ等）を使用し、ある程度表面を削り落としてから作業に掛かって下さい。
※堆積の無い場合②からの作業となります。
- ②トレ〜ルンFを2倍に希釈して使用し、刷毛で塗布して下さい。
- ③塗布後“すぐ”に施工面積が大きい場合はナイロンブラシ、小さい場合はスコッチブライトでブラッシングして下さい。
※除去出来るまで、この作業を繰り返し行って下さい。繰り返し作業には都度、水を流して進めて下さい。
- ④エフロが落ちたらF用リンス剤を塗布し、3〜5分後に水で洗い流して下さい。

トレ〜ルンF

(エフロ・サビ染み除去剤)

タイル洗浄(煤煙・水垢)基本工程

●用意する道具(作業1人分)

- ・トレ〜ルンF……………1本
- ・F用リンス剤……………1本
- ・ポリ容器(1〜3リットル)……………1個
- ・化学繊維100%の刷毛……………1本
 - ※ナイロンやポリエステル等、化学繊維100%の刷毛を使用して下さい。
 - ※獣毛が混じっている刷毛の使用は避けてください。(液成分と反応し泡状になり効果をおとします。)
- ・ナイロンブラシ……………1個
- ・ゴム手袋……………1双
- ・防毒マスク……………1個
 - ※作業中多少臭いがしますので、臭いの気になる方はマスクの着用をお勧めします。
- ・保護メガネ……………1個
- ・布ウエス……………相当数
- ・マスキングテープ……………相当数

●作業前の準備

- ゴム手袋、保護メガネ、必要に応じて防毒マスクを着用し作業に掛かって下さい。
- 植栽・車等飛散の恐れがある箇所及び、ガラスや大理石・レンガ等にはマスキングテープで養生して下さい。
- 目立たない部分に2〜3倍に希釈したトレ〜ルンFを少量塗布し、効果の確認をした上で施行して下さい。

●作業手順

- ①汚れに応じてトレ〜ルンFを2〜5倍に薄めて下さい。(トレ〜ルンF液1に対し水1〜2)
- ②刷毛又はナイロンブラシでトレ〜ルンF液を塗布して下さい。
- ③塗布したら直ぐに、刷毛又はナイロンブラシで“こすり洗い”して下さい。
- ④汚れが落ちたらF用リンス剤を塗布し、3〜5分後に水で洗い流して下さい。
 - ※1回で汚れが落ちきらない場合は、繰り返しこの作業を行って下さい。繰り返し作業には都度、水を流して進めて下さい。
 - ※ラスター及びパールのタイルの洗浄は、まず、トレ〜ルンOで汚れが除去できないかをテストして下さい。取れない場合には、トレ〜ルンFを必ず5倍程度の希釈液から始めて順次希釈倍率を変え、汚れが落ち且つ光沢がとばない事を確認した上で作業を行って下さい。

トレ〜ルンF

(エフロ・サビ染み除去剤)

サビ染み除去基本工程

●用意する道具（作業1人分）

- ・トレ〜ルンF……………1本
- ・F用リンス剤……………1本
- ・ポリ容器（1〜3リットル）……………1個
- ・化学繊維100%の刷毛……………1本

※ナイロンやポリエステル等、化学繊維100%の刷毛を使用して下さい。

※獣毛が混じっている刷毛の使用は避けてください。(液成分と反応し泡状になり効果をおとします。)

- ・ナイロンブラシ……………1個
- ・ゴム手袋……………1双
- ・防毒マスク……………1個

※作業中多少臭いがしますので、臭いの気になる方はマスクの着用をお勧めします。

- ・保護メガネ……………1個
- ・布ウエス……………相当数
- ・マスキングテープ……………相当数

●作業前の準備

- ゴム手袋、保護メガネ、必要に応じて防毒マスクを着用し作業に掛かって下さい。
- 植栽・車等飛散の恐れがある箇所及び、ガラス・大理石・レンガ等にはマスキングテープ等で養生して下さい。
- 目立たない部分に、2〜3倍に希釈したトレ〜ルンFを少量塗布し、効果の確認をした上で施行して下さい。

●作業手順

- ①トレ〜ルンFを2〜3倍に薄めて下さい。（トレ〜ルンF液1に対し水1〜2）容器はポリ容器を使用して下さい。
- ②刷毛又はナイロンブラシで“こする”ようにトレ〜ルンF液を塗布して下さい。
- ③サビ染みが落ちたらF用リンス剤を塗布し、3〜5分後に水で洗い流して下さい。
- ④1回で汚れが落ちきらない場合は、5〜10分後に繰り返しこの作業を行って下さい。

アクトリン

トレ〜ルンA

トレ〜ルンO

トレ〜ルンF

トレ〜ルンF

施工方法

●サビ染み除去……使用液剤：トレ〜ルンF

①トレ〜ルンFを2～3倍に希釈し、化学繊維100%の刷毛を使用し“こする”ように塗布する。

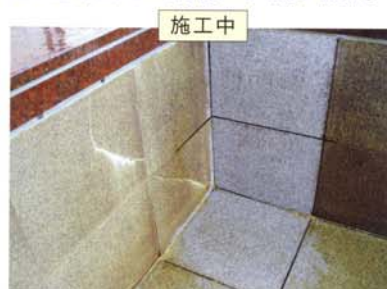


②サビが落ちたらF用リンス剤を塗布し、3～5分後に水で洗い流す。1回で落ちきらない場合2～3分後に繰り返し行う。



●光沢のタイルサビ染み除去……使用液剤：トレ〜ルンF

①トレ〜ルンFを3～4倍に希釈し化学繊維100%の刷毛を使用し“こする”ように塗布しながら、**すぐにウエスで拭き取る**。F用リンス剤を塗布し、3～5分後に水で洗い流す。



※必ず汚れが落ちたら、速やかにふき取り、水で洗い流して下さい。
光沢を落としたりシミや変色の原因になります。

トレ〜ルンF

施工方法

●タイル汚れ除去……使用液剤：トレ〜ルンF

- ①トレ〜ルンFを2～3倍に希釈し、化学繊維100%の刷毛又はナイロンブラシで“こする”ように塗布する。



- ②汚れが落ちたらF用リンス剤を塗布し、3～5分後に水で洗い流す。



●エフロ除去……使用液剤：トレ〜ルンF

- ①飛散の恐れがある箇所には必ずマスク等で養生して下さい。
- ②ある程度の表面を削り落としてから作業を始めて下さい。
- ③トレ〜ルンFを化学繊維100%の刷毛で塗布し、ナイロンブラシかスコッチブライトでブラッシングして下さい。



※除去できるまでこの作業を、繰り返し行って下さい。

- ④エフロ汚れが落ちたらF用リンス剤を塗布し、3～5分後に水で洗い流す。

アクトリン

トレ〜ルンA

トレ〜ルンO

トレ〜ルンF

トレ〜ルンF

使用例

●タイル

施工前



施工後



トレ〜ルンF

使用例

●御影石



アクトリン

トレ〜ルンA

トレ〜ルンO

トレ〜ルンF

トレ～ルンF

使用例

●タイル・サビ染み



アフトリン

トレ～ルンA

トレ～ルンO

トレ～ルンF